

令和5年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 令和5年10月16日(月) 10:00～10:45

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室

3 対象施設 青森市浪岡中央公民館

4 出席者

(1) 選定評価委員会

委員長 白戸高史(企画部次長)

副委員長 工藤拓実(総務部次長)

委員 竹内紀人(青森中央学院大学教授)

委員 柴田一史(税務部次長)

委員 船橋正明(経済部次長)

(2) 施設所管課(浪岡教育課)

課長 福原 崇

主幹 小笠原 敦司

主査 齊藤 寛和

主事 石村 瑞希

(3) 制度所管課(財政課)

副参事 岩淵 寿哉

主幹 宮崎 恭次

主査 櫻田 博光

主査 滝口 貴史

5 案件 指定管理者候補者の選定について

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 浪岡生涯学習施設管理運営協議会
- ・住所 青森市浪岡大字北中野字中坪209番地1
- ・代表者 会長 長谷川 等

(2) 指定期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「効率性について」を除いた得点（84点）が最低基準点（66点）以上を獲得していること。

7 主な質疑内容

【職員等の配置計画】

委員：館長は社会教育主事の有資格者ということで、社会教育主事としての活躍機会や、苦情等があった場合の対処としてどのようなものがあったのか教えていただきたい。

応募団体：いままで苦情を寄せられたことはないが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、体温計を設置してほしいとの要望があり、そういった事例に対して速やかに対応してきたところである。

また、地域の関係団体からイベント開催等についての相談があったときは、アドバイスや手助けをするなど、社会教育主事としての知識を生かすことが出来た。

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

委員：当該施設は避難所として防災の拠点となっており、街中に所在しているからこそ建物の被害や火災等に気をつけたいところだと思うが、施設として特別意識していることはあるか。

応募団体：災害等が起きたときは、館内の利用者が速やかに館外へ避難することが最優先だと考え、避難誘導を行うこととしている。また、火災が発生したときは、初期消火が重要だと考えることから、消火器を使用した訓練を実施している。

委員：浪岡中央公民館危機管理マニュアルを見ると、「館長が避難させる」「館長が報告する」等館長が対応するような記載となっているが、館長不在時におけるフォロー体制は整っているか。

応募団体：職員の中には消防団員や警察OBが在籍しており、災害時に館長の代わりに対応できるような体制をとっている。また、災害時に館長が不在の場合でも、即座に駆けつけ現場の対応を行うこととしている。

委員：そのような体制について、きちんと明文化して災害時における対応のために備えていただきたい。

【来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業】

委員：自主事業で実施予定のものはあるか。

応募団体：今年の夏に公民館で開催された市主催のイベントにおいて、次は公民館も一緒に事業展開するのはどうかという提案があったため、そういった機会があれば共同で実施してまいりたい。

【収支計画】

委員：収支予算書の中で、人件費に係る消費税を管理運営費に計上しているが、費目は租税公課費とするべきと思うがどうか。

施設所管課：そのように対応してまいりたい。